

## 春日山古道(春日山城址と三つの砦を巡る古道) (越後支部 80 周年記念事業・山岳古道調査)

- 期 日:2024年4月6日(土) 晴れ
- 参加者:CL 後藤正弘、SL 松尾和弘、朝比奈信男、玉木大二郎、佐藤レイ子、江口健、茂野伸行 7名 この他高田ハイキングクラブパーティー 5名
- 地 図:国土地理院 1/25000 高田西部
- コースタイム  
正善寺工房 8:20~9:10 滝寺砦跡 9:15~10:00 宇津尾(神社) 10:05~10:35 宇津尾砦跡 10:45~11:20 トヤ峰砦跡 12:00~12:40 正善寺工房 12:50~13:25 権現堂 13:35~14:05 春日山城址(本丸) 14:20~中正善寺経由~15:15 正善寺工房

今回は、春日山周辺の南の複雑な地形のなかにある滝寺砦、宇津尾砦、トヤ峰砦と春日山城址を巡る古道を歩く。

小学校跡地に建てられた「正善寺工房」に集合、県道歩道を西へ進み上信越自動車道の下を通過して「愛の風」への山道に入る。「愛の風公園」の脇を抜け東方の「滝寺砦」を目指す。林道から山道へ入ると古道の雰囲気があり、灌木帯を登ると視界が開ける。尾根の肩に位置して、これから歩く砦群や日本海や米山、関田山脈の山並み、上越市街地が見渡せる。

「滝寺砦」(170m)は、春日山城外郭の見張り場であり、宇津尾砦、トヤ峰砦との伝達機能を持つとともに、東方山裾の警備にあたっていたと考えられる。この砦の東には、上杉謙信公の祈願所である滝寺毘沙門堂があり、さらに東の飯集落には出陣にあたって軍勢が集結した陣取原(ズンド原)がある。



滝寺砦までもう少し



滝寺砦(170m) 背後に宇津尾砦

南の尾根道から西へ折れて宇津尾集落へ向かう。斜面をトラバースして山道を下り、休耕田から現役の耕作地を経て宇津尾集落に到着。山道はカタクリの群落が絨毯のように咲いていてウキウキしてくる。

宇津尾集落は、滝寺砦・宇津尾砦・トヤ峰砦の三つの砦に囲まれた山合の村。明治時代以降 26 戸前後だったが、昭和 30~40 年代の高度成長期に高田地区への移住が増え、現在住人はいない。しかし、現在も町内会機能は維持され 1 月の新年会、春と秋の道普請、5 月の薬師参り、八幡社日吉社合殿の春祭りとお祭り、8 月の狼煙上げなどが行われ、集落の絆は強い。かつて二か所から鉱泉が湧き、高田の奥座敷として人力車で旅館

に乗り付ける旦那衆で賑わったという。集落の道や家々、耕作地も綺麗に維持され、無人の集落とは思えないほどだ。

宇津尾砦(274m)は、薬師山頂上を砦の主郭とする山城で薬師如来を祀り、春日山城南方面を防備した重要な砦といわれる。近くに兵士の飲み水と伝わる「横清水(新潟県名水百選)」がある。

八幡社日吉社合殿に立ち寄り、西の山道を登り林道へ出て宇津尾砦に向かう。この道もカタクリロードで登りの苦しさをやわらげてくれる。



カタクリの小径



八幡社日吉社合殿



宇津尾砦(274m)



ため池の脇を



横清水(新潟県名水百選)

宇津尾砦から横清水を見て、トヤ峰砦へと向かう。下りが続くが最後に少し登るとトヤ峰砦(210m)に到着する。よく刈り払われていて眺望は抜群。春日山城から南西約2kmに位置する。厳しい崖や緩やかな傾斜の入り混じる地形を利用して、東西400m、南北100mの範囲に郭や堀切、堅堀、土塁が配置されている。砦南側に尾根を断ち切る大掘割が見られる。ここで景色を楽しみランチタイムをとった。

ここから「正善寺工房」までの山道も素晴らしいカタクリロードだった。



トヤ峰砦(210m)



カタクリの群落

「正善寺工房」(農産物の加工製造販売・加工体験教室)のある正善寺集落は、戦国時代寺院群があったと伝えられているところだ。

熊野神社入口から権現堂までは、急な山道を登り、その後尾根のアップダウンを繰り返す。広葉樹の森で気持ちの良いところだ。権現堂は、上杉謙信公が川中島合戦の祭に必勝祈願したと伝えられる。ここからは、青田南葉山や砦群、背後に火打山や焼山が見える。南三の丸まで観光客は少なく、静かな雰囲気のあるエリアである。

南三の丸から柿崎屋敷跡、景勝屋敷跡、大井戸などの観光名所が続き、春日山城址となる。観光客が急に多くなるが、本丸跡からは絶景が広がる。帰途は南三の丸から、中正善寺の白山神社を經由して「正善寺工房」へもどった。



急な山道



権現堂



大井戸



もうすぐ南三の丸



春日山城址

後藤 正弘／記